

関西「面接で話すまい」 東京「交通費安く済む」

大学生、就活で意見交換

「東西サミット」上京で

大学生の就職活動をテーマにした「東西学生就活サミット」が13日、京都市上京区の同志社大今出川キャンパスで開かれた。参加した学生や大学関係者たちは、これから本格化する就職活動について理解を深めた。



就職活動について語り合う同志社大と法政大の3、4年生

(京都市上京区・同志社大今出川キャンパス)

大学生に厳しい就職戦線を乗り切ってもらおうと、京都勤労者学園(中京区)と、NPO法人「あったかサポート」(下京区)が主催した。

同志社大と法政大の3、4年生の4人が「就活のために参考にしたこと」など8項目について意見交換した。両大学の学生からは「東京の学生は(首都圏の就活で)交通費が安くて済む」、「関西の学生は面接で話がうまい」などと語り合った。

就職活動に詳しい同志社大の川口章教授(56)は「政策学」は「インターシップやOB訪問をして職場の内情を知ってほしい」とアドバイスした。旅行会社に内定している法政大4年の遠藤優佑さん(22)は「千葉県船橋市」は「入社後にやりたい仕事をイメージし、受ける会社の社員に直接、社風を聞いたりした」と話した。

(北川裕猛)